

問1 江戸時代の日本の衛生状態に関する記述として、当時の資源活用の仕組みを踏まえて説明したものとして正しいものはどれですか。 (2022年

広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 化学肥料が主流であったため、排泄物は資源としての価値を失い、主に川や海へ廃棄されていた。 | 2. 西洋諸国と同様に、地下に大規模な下水道網を完備することで都市の清潔さを維持していた。 | 3. 都市の人口増加に伴い、排泄物の処理が追いつかず、衛生環境の悪化が深刻な社会問題となっていた。 | 4. 都市部で発生した排泄物を農村が買い取り、肥料として活用する循環型の社会システムが成立していた。 |
|---|---|---|--|

問2 江戸時代の外交において、幕府がオランダ商館長に提出を義務付けた「オランダ風説書」が果たした役割や背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2018年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. オランダが日本に対してキリスト教の布教を許可するよう、粘り強く交渉するために作成された | 2. 幕府が海外情勢を独占的に把握し、対外政策を判断するための極めて重要な情報源となった | 3. 杉田玄白らが西洋の医学を学ぶ際、最新の医療技術を幕府に報告するためにまとめられた | 4. 清（中国）との貿易額がオランダを上回った際、その理由を釈明するために提出された |
|--|--|---|--|

問3 江戸時代の交通網の整備と庶民文化の広がりについて述べた文として、当時の社会状況を正しく説明しているものを次の中から選びなさい。

(2021年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 勘合貿易の実施によって大陸から新しい文化や物資が流入し、これらを背景に浮世絵などの新しい芸術様式が庶民の間で確立された。 | 2. 文明開化により鉄道が全国に敷設されたことで、物資の流通が飛躍的に向上し、都市部を中心に西洋風の庶民文化が急速に広まった。 | 3. 遣隋使の派遣によって大陸の進んだ交通制度が導入され、都を中心とした主要道路が整備されたことで、貴族的な文化が全国へ波及した。 | 4. 参勤交代の制度によって街道や宿場が整えられたことで、庶民の間でも旅や娯楽を楽しむ余裕が生まれ、風景画などの文化が発展した。 |
|---|---|---|--|

問4 19世紀前半のイギリス、インド、清（中国）の三地域間で行われた貿易において、イギリスからインドへ向けて輸出された主要な品目として適切なものはどれですか。産業革命によって生産体制が変化した背景を踏まえて選びなさい。 (2024年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|------|--------|
| 1. アヘン | 2. 茶や絹 | 3. 銀 | 4. 綿織物 |
|--------|--------|------|--------|

問5 江戸幕府は鎖国体制下においても、特定の四つの地域や藩を外交・貿易の窓口として指定し、対外関係を管理していました。これらの窓口と、そこでの交渉相手の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 鳥取県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|-----------------|---------------|------------|
| 1. 薩摩藩 — 清（中国） | 2. 松前藩 — アイヌの人々 | 3. 対馬藩 — オランダ | 4. 長崎 — 朝鮮 |
|----------------|-----------------|---------------|------------|

問6 江戸幕府がオランダ商館を長崎の出島に集約し、海外貿易を厳密に管理した背景にある理由として、正しい説明はどれですか。 (2018年

大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. キリスト教の布教を伴わないオランダのみに貿易を許し、宗教的影響を排除しつつ富を独占するため。 | 2. 長崎の町を西日本最大の政治拠点にするため、幕府の直轄地として商工業を保護するため。 | 3. オランダを唯一のカトリック教国として認め、キリスト教の布教活動を段階的に許可するため。 | 4. 鉄砲や火薬の輸入を完全に禁止することで、国内の諸大名が軍勢力を高めるのを防ぐため。 |
|---|--|--|--|

問7 江戸時代後半の兵庫庫伊丹市における酒造りの様子を説明した記録では、広い作業場内に多くの人々が集まり、蒸し米の準備や樽の管理など、それぞれの工程に分かれて同時に作業を進めていたことが示されています。このような生産体制の特徴として最も適切なものはどれですか。

(2024年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 資本家が作業場を設け、労働者が分業によって手作業で製品を作る。 | 2. 蒸気機関などの機械を導入し、大規模な工場で製品を一律に作る。 | 3. 領主が直接農民を指揮し、年貢として納めるための製品を手作業で作る。 | 4. 農民が自分の家で、商人から受け取った原料を加工して製品を作る。 |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|

問8 江戸時代の政治改革とその主導者、および幕末の動乱へ至る歴史的な流れを整理したとき、時系列として適切な記述を選びなさい。 (2019年

福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 徳川吉宗が享保の改革を行った後、水野忠邦による天保の改革、松平定信による寛政の改革と続き、それらの改革がすべて終わった直後にペリーが来航した。 | 2. 松平定信による寛政の改革が失敗した直後に徳川吉宗が将軍となり、その後に水野忠邦が天保の改革を行い、最後にペリーが来航して開国した。 | 3. 水野忠邦が天保の改革で株仲間の解散を命じた後、松平定信が寛政の改革を行い、最後に徳川吉宗が享保の改革を行ったことで江戸幕府の支配体制が完成した。 | 4. 徳川吉宗が享保の改革で実利的な学問を奨励した後、松平定信が寛政の改革を行い、水野忠邦が天保の改革を断行した。その後、ペリーの来航により日本は開国へと向かった。 |
|--|--|---|--|

問9 江戸時代初期に九州の島原や天草で発生した大規模な一揆である「島原・天草一揆」が起こった主な背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと | 2. 豊臣秀吉による刀狩に反発した農民たちが、自衛のために武器の保持を求めて立ち上がったこと | 3. 室町時代から続いていた勘合貿易が制限され、海外との自由な取引を求める商人が蜂起したこと | 4. 開国を求める外国船の来航が相次ぎ、幕府の鎖国政策に反対する勢力が武力行使に出たこと |
|---|--|--|--|

問10 江戸時代、賄賂などが横行した田沼意次の政治を批判し、老中の松平定信が行った「寛政の改革」の内容として最も適切なものはどれですか。

(2021年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|-------------------------------------|--|
| 1. 工場制手工業（マニファクチュア）を全国に広め、特産品の生産を奨励した。 | 2. 借金に苦しむ旗本や御家人を救うため、棄捐令を出して貸借関係を無効にした。 | 3. 貨幣の質をあえて落とすことで流通量を増やし、物価の安定を図った。 | 4. 株仲間を積極的に奨励し、商人から税を徴収することで幕府の財政を潤した。 |
|--|---|-------------------------------------|--|

問11 江戸時代初期の対外関係において、朝鮮との貿易で日本が輸入した主な品物と、蝦夷地（アイヌ）との交易窓口を務めた藩の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 朝鮮からの輸入品：銀・銅 / 蝦夷地との窓口：対馬藩 | 2. 朝鮮からの輸入品：木綿・生糸・絹織物 / 蝦夷地との窓口：薩摩藩 | 3. 朝鮮からの輸入品：木綿・生糸・絹織物 / 蝦夷地との窓口：松前藩 | 4. 朝鮮からの輸入品：金・砂糖 / 蝦夷地との窓口：松前藩 |
|-------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|

問12 江戸幕府がいわゆる「鎖国」の体制を整えたあとも、長崎の港を通じて公認の貿易を継続していた二つの相手国の組み合わせとして、正しいものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|---------------|--------------|----------------|
| 1. イギリスと朝鮮 | 2. オランダと清（中国） | 3. オランダとスペイン | 4. ポルトガルと清（中国） |
|------------|---------------|--------------|----------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 都市部で発生した排泄物を農村が買い取り、肥料として活用する循環型の社会システムが成立していた。	江戸時代から明治初期の日本では、排泄物を単なる廃棄物ではなく、農作物の収穫量を増やすための貴重な肥料として再利用していました。都市から出た「下肥」を農村が運び出し、代わりに野菜などを都市に供給するという、現代でいう「循環型社会」が高度に成立していたことが、当時の日本の衛生環境が良好であった大きな要因です。
問2	答え 2 幕府が海外情勢を独占的に把握し、対外政策を判断するための極めて重要な情報源となった	幕府はオランダと清（中国）の2カ国に限定して長崎での貿易を許可していましたが、特に西洋諸国の動向についてはオランダ商館長からの報告に頼っていました。この報告書を通じて、幕府はアヘン戦争のような重大な海外事件も比較的早く察知しており、鎖国下であっても世界の情勢を注視していたことがわかります。このように情報を独占することは、幕府の権威を維持し、国内を統治する上でも大きな意味を持っていました。
問3	答え 4 参勤交代の制度によって街道や宿場が整えられたことで、庶民の間でも旅や娯楽を楽しむ余裕が生まれ、風景画などの文化が発展した。	江戸幕府は大名に江戸と領地を往復させる参勤交代を義務付けたため、五街道などの主要道路や、宿泊施設が並ぶ宿場町が急速に整備されました。この交通インフラの向上は、経済の活性化とともに庶民の移動を容易にし、伊勢参りなどの観光を目的とした旅の文化を育みました。歌川広重の「東海道五十三次」などの作品は、こうした社会背景の中で広く親しまれ、各地の様子を伝えるメディアとしての役割も果たしました。他の選択肢は、明治時代（鉄道）、室町時代（勘合貿易）、飛鳥・奈良時代（遣隋使）の内容であり、江戸時代の背景とは合致しません。
問4	答え 4 綿織物	産業革命を達成したイギリスでは、蒸気機関などの機械を利用した工場制機械工業が発達し、安価な綿製品を大量に生産することが可能になりました。イギリスはこの機械製の綿織物を植民地であるインドへ輸出することで、自国の経済的利益を拡大させました。これに対し、茶や絹はイギリスが清から輸入していたものであり、アヘンはインドから清へ輸出されていたものです。
問5	答え 2 松前藩 ― アイヌの人々	江戸幕府は完全に交流を断っていたわけではなく、四つの窓口を通じて特定の相手と関係を維持していました。松前藩（北海道南部）はアイヌの人々と、対馬藩（長崎と朝鮮の間の島）は朝鮮と、薩摩藩（鹿児島県周辺）は琉球王国を通じて中国と、長崎は幕府の直轄地としてオランダおよび清（中国）と交流・貿易を行っていました。
問6	答え 1 キリスト教の布教を伴わないオランダのみに貿易を許し、宗教的影響を排除しつつ富を独占するため。	当時のヨーロッパ諸国のうち、ポルトガルやスペインは布教を伴う貿易を行っていましたが、プロテスタントのオランダは貿易に専念する姿勢を示しました。幕府は体制の安定を脅かすキリスト教を徹底的に排除するため、オランダのみを特定の場所（出島）に限定して貿易を継続させました。
問7	答え 1 資本家が作業場を設け、労働者が分業によって手作業で製品を作る。	記述された状況は、特定の場所に労働者を集めて役割を分担する「分業」が行われていることを示しており、これは工場制手工業（マニファクチュア）の典型的な事例です。各人が自宅で作業を行う問屋制家内工業から一歩進んだ生産形態と言えます。
問8	答え 4 徳川吉宗が享保の改革で実利的な学問を奨励した後、松平定信が寛政の改革を行い、水野忠邦が天保の改革を断行した。その後、ペリーの来航により日本は開国へと向かった。	江戸幕府の改革は、1720年代の「享保の改革（徳川吉宗）」、1780年代末からの「寛政の改革（松平定信）」、1840年代の「天保の改革（水野忠邦）」という順で、約50年程度の間隔を空けて実施されました。天保の改革の失敗後、1853年にペリーが来航し、日本はそれまでの鎖国政策を改めて開国へと踏み出すことになります。それぞれの改革が当時の社会問題（飢饉や物価高騰）に対処しようとした背景を理解することが重要です。
問9	答え 1 幕府や藩によるキリスト教徒への弾圧に加え、凶作の中でも領主が重い年貢を課したこと	島原・天草一揆は、単なる宗教的な対立だけで発生したものではありません。当時の島原藩や天草地方（唐津藩領）では、キリスト教徒に対する激しい拷問を伴う弾圧が行われる一方で、領主たちが農民の生活を顧みず、極めて厳しい年貢（税）の取り立てを強行していました。こうした宗教的・経済的な二重の苦境に追い詰められたことが、大規模な蜂起につながりました。
問10	答え 2 借金に苦しむ旗本や御家人を救うため、棄捐令を出して貸借関係を無効にした。	松平定信は、田沼意次の重商主義的な政治によって生じた腐敗や物価の高騰を正すため、徳川吉宗の享保の改革を理想とした厳しい緊縮財政を行いました。その一環として、生活が困窮していた幕臣（旗本・御家人）を救済するため、札差からの借金を帳消しにする「棄捐令」を発令しました。他の選択肢にある貨幣の質の変更や株仲間の奨励は、田沼意次の時代の特徴です。
問11	答え 3 朝鮮からの輸入品：木綿・生糸・絹織物 ／ 蝦夷地との窓口：松前藩	江戸幕府は特定の地域や藩に限定して対外的な交渉や貿易を認めました。朝鮮との関係については、対馬藩（宗氏）が窓口となり、日本からは当時豊富に産出されていた銀や銅を輸出し、朝鮮からは衣料の原料となる木綿や高級な生糸・絹織物を輸入しました。一方、北方では松前藩がアイヌとの交易の独占権を幕府から認められていました。薩摩藩は琉球王国との窓口を担っていたため、混同に注意が必要です。
問12	答え 2 オランダと清（中国）	江戸幕府はキリスト教の布教を防ぐ目的で、1630年代にポルトガル船の来航禁止や日本人の海外渡航禁止などを進め、鎖国体制を完成させました。しかし、海外の文物の流入や情報の収集を完全に断ったわけではなく、キリスト教の布教を行わないことを条件に、長崎においてオランダと中国（清）の2国との貿易を継続しました。